

避難情報は警戒レベルでお知らせ

警戒レベル

4

ひなんしじ 避難指示で必ず避難

警戒レベル

新たな避難情報等

5

災害発生
又は切迫



きんきゅうあんぜんかくほ
緊急安全確保

<警戒レベル4までに必ず避難！>

4

災害の
おそれ高い



ひなんしじ
避難指示

3

災害の
おそれあり



こうれいしゃとうひなん
高齢者等避難

2

気象状況悪化



大雨・洪水・高潮注意報
(気象庁)

1

今後気象状況
悪化のおそれ



早期注意情報
(気象庁)

警戒レベル5は、
すでに安全な避難ができず
命が危険な状況です。
警戒レベル5緊急安全確保の
発令を待ってはいけません！

警戒レベル4避難指示で
危険な場所から全員避難
しましょう。

避難に時間のかかる
高齢者や障害のある人は、
警戒レベル3高齢者等避難で
危険な場所から避難
しましょう。



避難のポイント

避難の心得

避難は自ら判断を

災害が迫ったとき、置かれた状況は一人ひとり違います。自ら考え、「自分の命は自分で守る」という意識を持って行動しましょう。

具体的には

- 土砂災害の危険がある地域に住んでいる。
- 河川のはん濫により、浸水の危険がある地域に住んでいる。
- 子どもや高齢者など家族に要配慮者がいる。

気象情報や市の避難情報に注意し、早めの避難を心がけてください。



命を守る最低限の行動を

危険な状況の中での避難は出来るだけ避け、安全の確保を第一に考えます。危険が切迫している場合は、命を守る最低限の行動が必要な場合もあります。

具体的には

- 夜間や急激な降雨で避難経路上の危険箇所がわかりにくい。
- ひざ上まで浸水している。(50cm以上)
- 浸水は20cm程度だが、水の流れる速度が速い。
- 浸水は10cm程度だが、用水路などの位置が不明で転落のおそれがある。

屋外での移動は危険です。自宅や近隣建物の2階以上へ(土砂災害の場合は、斜面から離れた部屋など)緊急的に一時避難し、救助を待つことも検討してください。

